

社会資本総合整備計画(第8回変更)

三条市中心市街地における定住の促進、にぎわいの再生、及び安心・安全なまちづくりの再構築

令和 2 年 1 月

新潟県 三条市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和2年1月

計画の名称	三条市中心市街地における定住の促進、にぎわいの再生、及び安心・安全なまちづくりの再構築										重点計画の該当		○
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)						交付対象		三条市				
計画の目標													
JR東三条駅、北三条駅、三条駅に囲まれた三条市の中心市街地において、点在する公共施設の再整理を行い、都市機能の拡散を防止し、中心市街地の公共共益サービス機能の維持を念頭に置き、若年世代の定住の促進、スマートウェルネス三条の推進やそれらに付随した全天候型広場や地域交流センターを核とした賑わいの場の再生、住民の安心・安全のための施策を基本方針とするまちづくりを推進する。													
計画の成果目標（定量的指標）													
・学力向上のための取組の充実、幼児教育と小中学校教育の円滑な接続の推進が図られたかの市民満足度を 3,050㊦ イント（H26）から3,150㊦ イント（H30）に増加 ・中心市街地の賑わいの再生の市民満足度を2,352㊦ イント（H26）から2,540㊦ イント（H30）に増加 ・水害対策（河川等の整備）の充実・強化により、市街地等の浸水被害が解消されたかの市民満足度を2,857㊦ イント（H26）から3,131㊦ イント（H30）に増加 ・中心市街地の賑わいの再生 中心市街地を構成する 5 つの商店街とまちなか交流広場前の 1 日の合計平均歩行者数を775人（H26）から915人（H31）に増加 ・中心市街地の賑わいの再生 計画区域内の文化・交流人口を278,572人（H26）から282,997人（H31）に増加													
定量的指標の定義及び算定式													
定量的指標の現況値及び目標値													
備考													
当初現況値 (H26当初)													
中間目標値 (H29末)													
最終目標値 (H31末)													
学力向上のための取組の充実、幼児教育と小中学校教育の円滑な接続の推進が図られたかの市民満足度を調査する。 隔年で実施している市民満足度調査で施策項目の「満足」「やや満足」の回答した割合の平均値とする。													
3,050㊦ イント													
-													
3,150㊦ イント													
中心市街地の賑わいの再生の市民満足度を調査する。 隔年で実施している市民満足度調査で施策項目の「満足」「やや満足」の回答した割合の平均値とする。													
2,352㊦ イント													
-													
2,540㊦ イント													
水害対策（河川等の整備）の充実・強化により、市街地等の浸水被害が解消されたかの市民満足度を調査する。 隔年で実施している市民満足度調査で施策項目の「満足」「やや満足」の回答した割合の平均値とする。													
2,857㊦ イント													
-													
3,131㊦ イント													
中心市街地の賑わいの再生 中心市街地を構成する 5 つの商店街とまちなか交流広場前の 1 日の合計平均歩行者数を調査する。													
775人													
-													
915人													
中心市街地の賑わいの再生 国立社会保障・人口問題研究所の三条市人口の将来推計、計画区域内の交流利用者数の実績及び公民館事業実績に加え、新たな施設建設による交流利用者の誘導効果を踏まえて算出した文化・交流利用者。													
278,572人													
-													
282,997人													

C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-C-3	活動支援	一般	三条市	直接	三条市	広場を中心とした市民活動促進事業	市民活動への活動支援	三条市						1.0	
合計														1.0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-3	全天候型広場を活用する取組の醸成や活動のためのノウハウの提供を通して、市民による広場の活用と利用・交流の促進につなげる。														

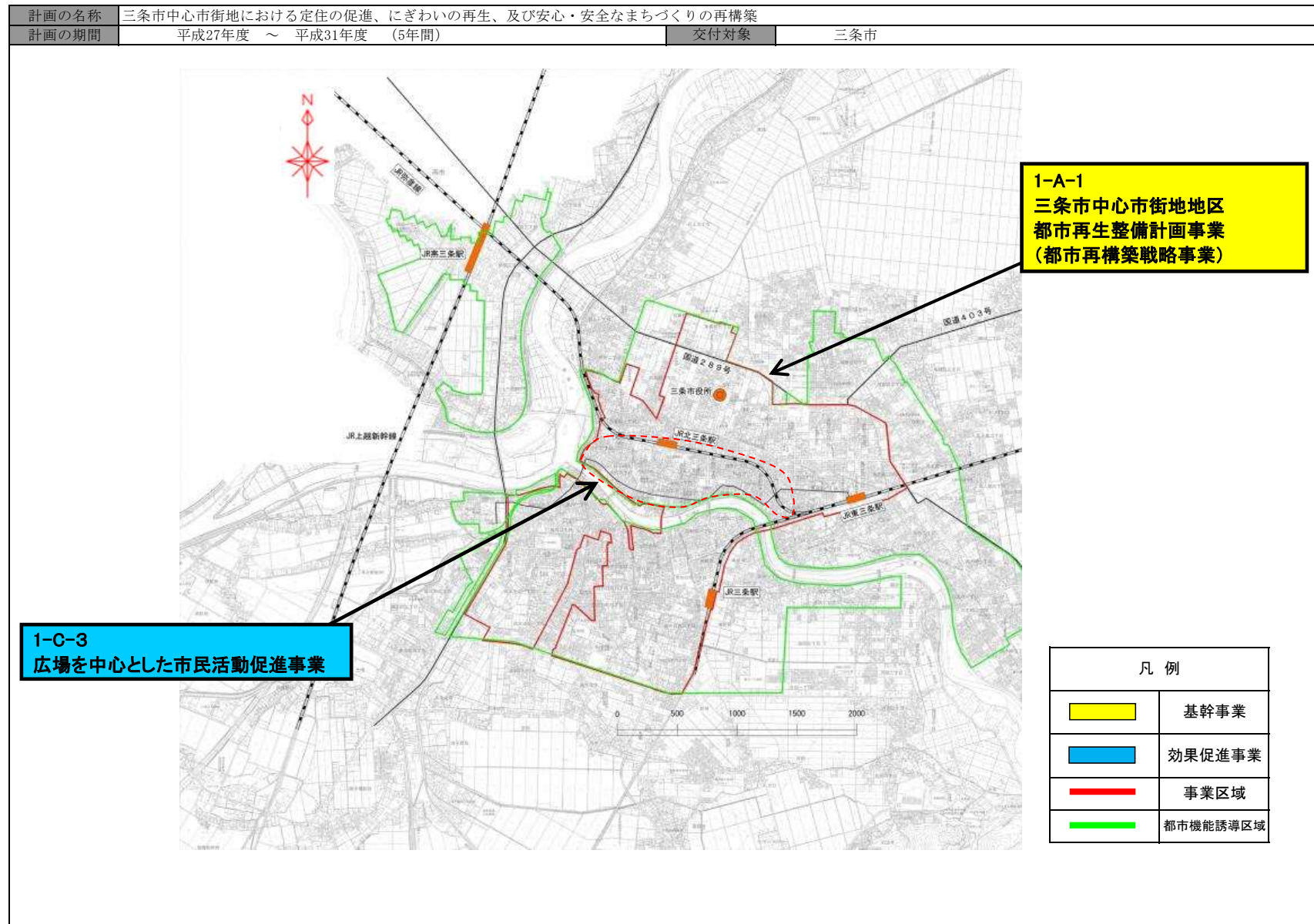
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）														
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名						備考
									H27	H28	H29	H30	H31	
D-1														
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-D1-1														

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	271.9	887.9	560.7	628.9	286.4
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 8.3
交付額 (c=a+b)	271.9	887.9	560.7	628.9	278.1
前年度からの繰越額 (d)	0.0	54.4	291.8	139.3	1.1
支払済額 (見込みを含む) (e)	217.5	650.5	713.2	767.1	279.2
翌年度繰越額 (f)	54.4	291.8	139.3	1.1	0.0
うち未契約 繰越額 (g)	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未契約繰越＋不用率 が〇%を超えている 場合その理由					

(参考図面) 市街地整備



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 三条市中心市街地地区における定住の促進、にぎわいの再生、及び安心・安全なまちづくりの再構築 事業主体名: 三条市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	☒
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	☒
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	☒
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	☒
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	☒
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	☒
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	☒
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	☒
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	☒
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	☒
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	☒
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	☒
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	☐
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	☒
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	☒
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	☐
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	☒